

I 調査のあらまし

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、県民の防災対策の実施状況や災害発生時の行動など、災害に対する関心、意識、要望等を調査し、県民の実態や経年変化を把握して、今後の防災対策を検討する上での基礎資料とするために実施するものである。

(2) 調査の項目

- ① 南海トラフ地震等の大規模災害について
- ② 住まいの防災対策について
- ③ 大規模災害に対しての備えについて
- ④ 避難場所などについて
- ⑤ 地域の防災体制について
- ⑥ 災害時のボランティア活動について
- ⑦ 県・市町村の防災・災害対策について
- ⑧ その他

(3) 調査の設計

- ① 調査地域 愛知県全体
- ② 調査対象 県内在住の満 18 歳以上の男女
- ③ 標 本 数 3,000 人
- ④ 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- ⑤ 調査方法 調査票郵送法（調査期間中に督促状を別途発送）
- ⑥ 調査期間 令和 7 年 9 月 1 6 日（火）～1 0 月 2 4 日（金）（39 日間）

(4) 調査委託先

ジオエイト合同会社

(5) 配布・回収状況

有効回収数は、1,502 票、有効回収率は 50.1%であった。

表 1. 配布及び回収数

	地域	市区町村名	配布数	回収数	構成比(%)	回収率(%)
名古屋	名古屋市域	合計	941	422	28.1%	44.8%
		名古屋市	941	422	28.1%	44.8%
尾張	尾張地域	合計	750	365	24.3%	48.7%
		一宮市	155	70	4.7%	45.2%
		瀬戸市	52	26	1.7%	50.0%
		春日井市	124	69	4.6%	55.6%
		犬山市	29	17	1.1%	58.6%
		江南市	41	15	1.0%	36.6%
		小牧市	57	28	1.9%	49.1%
		稲沢市	55	22	1.5%	40.0%
		尾張旭市	34	17	1.1%	50.0%
		岩倉市	19	7	0.5%	36.8%
		豊明市	27	16	1.1%	59.3%
		日進市	36	20	1.3%	55.6%
		清須市	27	11	0.7%	40.7%
		北名古屋市	40	19	1.3%	47.5%
		長久手市	23	10	0.7%	43.5%
		東郷町	17	9	0.6%	52.9%
		扶桑町	14	9	0.6%	64.3%
	海部地域	合計	130	51	3.4%	39.2%
		津島市	20	5	0.3%	25.0%
		愛西市	26	7	0.5%	26.9%
		弥富市	20	10	0.7%	50.0%
		あま市	35	16	1.1%	45.7%
		大治町	13	5	0.3%	38.5%
		蟹江町	16	8	0.5%	50.0%
	知多地域	合計	255	141	9.4%	55.3%
		半田市	49	26	1.7%	53.1%
		常滑市	29	21	1.4%	72.4%
		東海市	50	22	1.5%	44.0%
		大府市	36	17	1.1%	47.2%
		知多市	35	21	1.4%	60.0%
		阿久比町	16	11	0.7%	68.8%
		東浦町	20	10	0.7%	50.0%
		武豊町	20	13	0.9%	65.0%
西三河	西三河地域	合計	630	313	20.8%	49.7%
		岡崎市	152	78	5.2%	51.3%
		碧南市	28	14	0.9%	50.0%
		刈谷市	60	30	2.0%	50.0%
		豊田市	165	86	5.7%	52.1%
		みよし市	24	13	0.9%	54.2%
		安城市	74	37	2.5%	50.0%
		西尾市	66	29	1.9%	43.9%
		知立市	27	14	0.9%	51.9%
		高浜市	18	7	0.5%	38.9%
		幸田町	16	5	0.3%	31.3%
東三河	東三河地域	合計	294	164	10.9%	55.8%
		豊橋市	146	85	5.7%	58.2%
		豊川市	73	43	2.9%	58.9%
		蒲郡市	32	10	0.7%	31.3%
		田原市	24	15	1.0%	62.5%
		新城市	19	11	0.7%	57.9%
-	-	無回答	-	46	3.1%	-
合計			3,000	1,502	100.0%	50.1%

2. 対象者の抽出

(1) 層化

令和2年国勢調査の地域区分を参考にして、愛知県内の市町村を4つの調査地域、17の調査地区にグループ化した。(表2)

さらに、各調査地区を「名古屋市」、「名古屋市以外の市」と「郡(町村)」の3つに分類し、それぞれ「層」とした。(表3)

なお、市町村の区分は、令和7年10月を基準とした。

(2) 標本数の配分

3,000の標本数を、各層の母集団の大きさ(令和2年7月22日時点の国勢調査人口)により、1調査地点あたりの標本数を20になるよう比例配分を行った。(表3)

この結果、前回調査に比較して、人口増減などで調査地点数の変動する市町村も生じたが、広い範囲の市町村を対象にするため、増加分の2地点は、調査地点の無い町村に配分した。

表 2. 調査地域・地区区分

地域	地区	市区町村名	地域	地区	市区町村名
1名古屋地域	01名古屋東部地区	千種区	2尾張地域	09尾張東部地区	瀬戸市
		東区			尾張旭市
		守山区			豊明市
		名東区			日進市
	02名古屋南東部地区	昭和区			長久手市
		瑞穂区			東郷町
		天白区		10知多地区	半田市
		緑区			常滑市
	03名古屋北西部地区	西区			東海市
		中村区			大府市
		中区			知多市
		北区			阿久比町
	04名古屋南西部地区	港区			東浦町
		中川区			武豊町
		南区	3西三河地域	11豊田加茂地区	豊田市
		熱田区		12岡崎額田地区	みよし市
2尾張地域	05海部地区	津島市		13衣浦東部地区	岡崎市
		愛西市			幸田町
		弥富市			碧南市
		あま市			刈谷市
		大治町			安城市
		蟹江町			知立市
		一宮市		14西尾幡豆地区	高浜市
	06尾張西部地区	稲沢市	4東三河地域	15新城北設楽地区	西尾市
	07尾張中部地区	清須市		16宝飯地区	新城市
		北名古屋市		17豊橋田原地区	豊川市
	08尾張北部地区	春日井市			蒲郡市
		犬山市			豊橋市
		江南市			田原市
		小牧市			
		岩倉市			
		扶桑町			

表 3. 調査地区別の調査地点数及び標本数

地域	地区	1名古屋			2市(名古屋市以外)			3郡(町村)			総計		
		母集団の 大きさ (人)	標本数 (人)	調査地 点数	母集団の 大きさ (人)	標本数 (人)	調査地 点数	母集団の 大きさ (人)	標本数 (人)	調査地 点数	母集団の 大きさ (人)	標本数 (人)	調査地 点数
1名古屋地域	01名古屋東部地区	579,664	220	11							579,664	220	11
	02名古屋南東部地区	617,032	240	12							617,032	240	12
	03名古屋西北部地区	529,086	220	11							529,086	220	11
	04名古屋西南部地区	569,856	220	11							569,856	220	11
1名古屋地域	合計	2,295,638	900	45							2,295,638	900	45
2尾張地域	05海部地区				256,686	100	5	68,075	40	2	324,761	140	7
	06尾張西部地区				517,735	220	11	0	0	0	517,735	220	11
	07尾張中部地区				151,460	60	3	15,177	0	0	166,637	60	3
	08尾張北部地区				676,199	260	13	57,080	40	2	733,279	300	15
	09尾張東部地区				424,535	180	9	42,858	20	1	467,393	200	10
	10知多地区				459,173	180	9	166,600	80	4	625,773	260	13
2尾張地域	合計				2,485,788	1,000	50	349,790	180	9	2,835,578	1,180	59
3西三河地域	11豊田加茂地区				484,352	180	9	0	0	0	484,352	180	9
	12岡崎額田地区				381,051	160	8	39,549	20	1	420,600	180	9
	13衣浦東部地区				521,988	200	10	0	0	0	521,988	200	10
	14西尾幡豆地区				167,990	60	3	0	0	0	167,990	60	3
3西三河地域	合計				1,555,381	600	30	39,549	20	1	1,594,930	620	31
4東三河地域	15新城北設楽地区				47,133	20	1	9,655	0	0	56,788	20	1
	16宝飯地区				263,536	120	6	0	0	0	263,536	120	6
	17豊橋田原地区				437,129	160	8	0	0	0	437,129	160	8
4東三河地域	合計				747,798	300	15	9,655	0	0	757,453	300	15
総計		2,295,638	900	45	4,788,967	1,900	95	398,994	200	10	7,483,599	3,000	150

資料：令和2年国勢調査

母集団の大きさに関しては、令和2年国勢調査の市町村別（名古屋市は区別）をベースに積算した。

(3) 抽出

- ① 1次抽出の単位となる調査地点の候補として、令和2年国勢調査における町丁・字を使用した。
- ② 前回（令和7年度）の調査では、各層における調査地点の決定は、 $[\text{各層の母集団数}] \div [\text{調査地点数}] = [\text{抽出間隔}]$ を算出し、抽出間隔に該当する町丁・字を調査地点として設定されている。そこで、今回の調査が、各地区の地点数がほぼ同じ地点数の地区が多いことから、前回と調査地点が重複しないように設定した。
- ③ 調査地点における対象者の抽出は、選挙人名簿により、20人を等間隔抽出法で抽出した。
- ※なお、調査地点は、令和2年国勢調査データを基に決定しているため、対象者抽出作業実施時に人口が足りなかったり、現存しなかった場合には、別の町丁・字に変更した。

表 4. 調査地点の町丁・字

通番	地域	地区	市区町村名	町長・字	通番	地域	地区	市区町村名	町長・字	通番	地域	地区	市区町村名	町長・字			
1	1 名古屋 地域	01名古屋東部地区	千種区	神田町	51	2尾張地区	05海部地区	あま市	石作	101	2尾張地区	10知多地区	知多市	朝倉町			
2				光が丘二丁目	52			大治町	大字東條	102			阿久比町	大字卯坂			
3				茶屋坂通二丁目	53			蟹江町	城四丁目	103			東浦町	大字石浜字飛山池上			
4			東区	砂田橋一丁目	54		06尾張西部地区	今伊勢町本神戸字目久井	104	武豊町	大字富貴						
5				葵一丁目	55			音羽二丁目	105	丸山町八丁目	丸山町八丁目						
6				大永寺町	56			萩原町串作字御替地	106	若林西町	若林西町						
7			守山区	泉が丘	57			萩原町西御堂字社宮司	107	広久手町三丁目	広久手町三丁目						
8				大字上志段味字東谷	58			猿海道二丁目	108	西中山町山桑	西中山町山桑						
9				瀬古東二丁目	59			丹羽字堀口	109	田中町三丁目	田中町三丁目						
10			名東区	延珠町	60			今伊勢町宮後字下苧島	110	小川町一丁目	小川町一丁目						
11				にじが丘二丁目	61			木曾川町黒田字中沼北ノ切	111	荒井町	荒井町						
12				藤森西町	62			小沢二丁目	112	美山町四丁目	美山町四丁目						
13		02名古屋南東部地区	昭和区	車田町二丁目	63	07尾張中部地区	稲沢市	奥田町	113	12岡崎・額田地区	岡崎市	三好丘あおば二丁目	三好丘あおば二丁目				
14				車田町二丁目	64			長野二丁目	114			竜美東一丁目	竜美東一丁目				
15				瑞穂区	瑞穂通二丁目			65	清須市			上新	115	牧平町字岩坂	牧平町字岩坂		
16			牛巻町		66		北名古屋	九之坪竹田	116			矢作町	矢作町				
17			植田南二丁目		67			高田寺	117			本宿町	本宿町				
18			天白区	古川町	68			穴橋町二丁目	118			簡針町	簡針町				
19			緑区	焼山二丁目	69		春日井市	篠木町八丁目	119	明大寺町字南山新切	明大寺町字南山新切						
20				鳴海町字丸内	70			林島町三丁目	120	井田町字四丁目	井田町字四丁目						
21				六田一丁目	71			花長町二丁目	121	大門五丁目	大門五丁目						
22			元徳重一丁目	72	小野町四丁目			122	幸田町	大字六果							
23			鳴海町字赤塚	73	08尾張北部地区	江南市	神領町二丁目	123	3西三河地区	刈谷市	末広町三丁目	末広町三丁目					
24			大将ヶ根一丁目	74			藤ヶ丘六丁目	124			築地町二丁目	築地町二丁目					
25		鳩岡	75	藤ヶ丘三丁目			125	高津波町七丁目			高津波町七丁目						
26		北区	池花町	76		犬山市	大字大山	126			13衣浦東部地区	安城市	三度山町二丁目	三度山町二丁目			
27			上飯田北町一丁目	77			久保一色南二丁目	127		緑町二丁目			緑町二丁目				
28			山木二丁目	78			大字大山	128		今池町一丁目			今池町一丁目				
29		西区	栄生二丁目	79	小牧市	古雅四丁目	129	知立市		弁天町	弁天町						
30			上小田井二丁目	80		古雅四丁目	130			美園町時ヶ堀	美園町時ヶ堀						
31			中村町七丁目	81		岩倉市	東新町			131	八橋町	八橋町					
32		中村区	岩塚町字小池	82	扶桑町	大字斎藤	132	高浜市		田戸町五丁目	田戸町五丁目						
33			松原町五丁目	83		東長根町	133		西浅井町	西浅井町							
34			大須一丁目	84		瀬戸市	上之山町二丁目		134	一色町赤羽	一色町赤羽						
35		中区	正木四丁目	85		中水野町一丁目	135		巨海町	巨海町							
36		04名古屋西部地区	熱田区	古新町二丁目	86	09尾張東部地区	尾張旭市	柏井町公園通	136	4東三河地区	15新城・北設楽地区	新城市	中宇利	中宇利			
37			中川区	小本二丁目	87			豊明市	向町三丁目				137	16宝飯地区	豊川市	諏訪西町二丁目	諏訪西町二丁目
38				中郷四丁目	88				栄町殿ノ山				138			西豊町三丁目	西豊町三丁目
39				下之一色町字権野	89		藤塚三丁目		139				東豊町			東豊町	
40				かの里三丁目	90		藤島町	140	蔵子一丁目				蔵子一丁目				
41				十一屋二丁目	91		長久手市	長配三丁目・仲田	141	三谷北通二丁目	三谷北通二丁目						
42			港区	西茶屋一丁目	92		東郷町	和合ヶ丘二丁目	142	蒲郡市	宝町	宝町					
43				七反野二丁目	93			花園町一丁目	143		富本町	富本町					
44				豊四丁目	94			終町五丁目	144		東脇一丁目	東脇一丁目					
45			南区	駈上二丁目	95		10知多地区	半田市	金山字大曾	145	17豊橋・田原地区	豊橋市	牛川通三丁目	牛川通三丁目			
46				菊住一丁目	96	東海市			富貴ノ台一丁目	146			向山大池町	向山大池町			
47	津島市	愛宕町一丁目		97	加木屋町宮ノ脇	147			船渡町	船渡町							
48	愛西市	大野山町	98	月見町一丁目	148	浜道町		浜道町									
49	2尾張地区	05海部地区	弥富市	平島町北広畑	99	梶田町二丁目	149	東脇四丁目	東脇四丁目								
50			あま市	七宝町安松	100	知多市	八幡新町二丁目	150	田原市	東赤石							

3. 回答者の属性

(1) 年齢

問 39 あなたの年齢を教えてください。（○は1つ）

- 年齢は、「70 歳以上」が 23.2%と最も多く、次いで「50 歳代」が 20.3%、「60 歳代」が 19.2%と多くなっている。

表 5. 年齢構成

上段：実数 下段：%	問39年齢								回答者数
	1 0 歳 代	2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 代	6 0 歳 代	7 0 歳 以上	無 回 答	
全体	5	65	174	266	305	288	348	51	1,502
	0.3	4.3	11.6	17.7	20.3	19.2	23.2	3.4	100.0

(2) 居住地

問40 お住まいの市町村はどちらですか？（○は市町村名につけてください）

- 居住地は、「名古屋市域」が 28.1%、「尾張地域」が 24.3%、「西三河地域」が 20.8%、「東三河地域」が 10.9%、「知多地域」が 9.4%、「海部地域」が 3.4%であった。

表 6. 居住地【年齢別】

		問40居住地						回答者数	
		名古屋 市域	尾張 地域	海部 地域	知多 地域	西三 河地 域	東三 河地 域		無回 答
上段：実数 下段：%									
全体		422	365	51	141	313	164	46	1502
		28.1	24.3	3.4	9.4	20.8	10.9	3.1	100.0
問39年齢	10歳代	2	2	1	0	0	0	0	5
		40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	20歳代	14	18	5	5	16	7	0	65
		21.5	27.7	7.7	7.7	24.6	10.8	0.0	100.0
	30歳代	41	50	9	16	43	14	1	174
		23.6	28.7	5.2	9.2	24.7	8.0	0.6	100.0
	40歳代	82	63	8	27	52	34	0	266
		30.8	23.7	3.0	10.2	19.5	12.8	0.0	100.0
	50歳代	81	76	11	36	69	32	0	305
		26.6	24.9	3.6	11.8	22.6	10.5	0.0	100.0
	60歳代	86	67	9	28	60	38	0	288
		29.9	23.3	3.1	9.7	20.8	13.2	0.0	100.0
	70歳以上	115	87	8	29	69	39	1	348
		33.0	25.0	2.3	8.3	19.8	11.2	0.4	100.0
	無回答	1	2	0	0	4	0	44	51
		2.0	3.9	0.0	0.0	7.8	0.0	86.3	100.0

4. 報告書の記載について

- 図や表中の比率は、小数点以下第2位を四捨五入したうえで、割合の合計が100.0%になるように調整している。なお、既存調査の数値に関しては、実施年度の数値をそのまま使用した。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答に対して、それぞれの割合を示しているため、合計が100%を超える場合がある。
- 図表中の「n（number of cases）」は、集計対象者総数（あるいは特定の設問に対する回答者限定条件に該当する人）を表している。また、「MA（multiple answer）」は、質問に対する回答として選択肢の中から、該当するものを複数以上認める回答形式であることを表している。
- 表中の数値は、n（回答者数）を除き、比率（%）である。
- 標本調査には、統計上の標本誤差があるので、調査結果の真の値は、本報告に記述している調査結果の値を中心として、下記に示す標本誤差の幅の中にあるものと考えられる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2\sqrt{P(100-P)/N} \quad P: \text{回答率} \quad N: \text{回答者数(人)}$$

表 7. 標本誤差早見表

		n=回答者数	P：回答率（%）									
			5又は95	10又は90	15又は85	20又は80	25又は75	30又は70	35又は65	40又は60	45又は55	50
全体		1502	1.1	1.5	1.8	2.1	2.2	2.4	2.5	2.5	2.6	2.6
問39年齢	10歳代	5	19.5	26.8	31.9	35.8	38.7	41.0	42.7	43.8	44.5	44.7
	20歳代	65	5.4	7.4	8.9	9.9	10.7	11.4	11.8	12.2	12.3	12.4
	30歳代	174	3.3	4.5	5.4	6.1	6.6	6.9	7.2	7.4	7.5	7.6
	40歳代	266	2.7	3.7	4.4	4.9	5.3	5.6	5.8	6.0	6.1	6.1
	50歳代	305	2.5	3.4	4.1	4.6	5.0	5.2	5.5	5.6	5.7	5.7
	60歳代	288	2.6	3.5	4.2	4.7	5.1	5.4	5.6	5.8	5.9	5.9
	70歳以上	348	2.3	3.2	3.8	4.3	4.6	4.9	5.1	5.3	5.3	5.4
	無回答	51	6.1	8.4	10.0	11.2	12.1	12.8	13.4	13.7	13.9	14.0
問40居住地	名古屋地域	422	2.1	2.9	3.5	3.9	4.2	4.5	4.6	4.8	4.8	4.9
	尾張地域	365	2.3	3.1	3.7	4.2	4.5	4.8	5.0	5.1	5.2	5.2
	海部地域	51	6.1	8.4	10.0	11.2	12.1	12.8	13.4	13.7	13.9	14.0
	知多地域	141	3.7	5.1	6.0	6.7	7.3	7.7	8.0	8.3	8.4	8.4
	西三河地域	313	2.5	3.4	4.0	4.5	4.9	5.2	5.4	5.5	5.6	5.7
	東三河地域	164	3.4	4.7	5.6	6.2	6.8	7.2	7.4	7.7	7.8	7.8
	無回答	46	6.4	8.8	10.5	11.8	12.8	13.5	14.1	14.4	14.7	14.7

- 本調査から例を取ると、問1の南海トラフ地震などの大規模災害に「非常に関心がある」とする人の割合は、回答者の1,502人の57.5%となっている。この場合の標本誤差は、上記の早見表（表7）の50%の欄を見ると2.6%である。すなわち、母集団である県民全体における「非常に関心がある」とする人の割合は、±2.6%つまり、54.9%～60.1%の間に真の値があるということである。